
公益社団法人日本交通政策研究会シンポジウム

道路課金と交通マネジメント

－維持更新時代の戦略的イノベーション－

平成29年2月

このたび、公益社団法人日本交通政策研究会では、下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

1. 開催趣旨

わが国の道路整備は1954年の「第一次道路整備五箇年計画」を契機に本格化し、全国をカバーする高速道路は2017年3月には11,421kmに達し14,000kmの目標も間もなく達成される見込みです。

一方、自動車交通量は2003年を境に減少傾向に転じています。わが国の人口も2010年にピークに達し、将来は急速に減少していくと予想されており、自動車交通量も減少していくと考えられます。

こうしたなか、近年の道路行政の主要な課題は、交通や暮らしの質を高めるべく道路ストックを賢く使うことに重点が置かれるようになってきています。

具体的には、沿道環境の保全、交通安全、貨物車交通の効率化、道路インフラの健全性の確保と財源の確保等が課題として挙げられています。

以上の課題に対応するために、道路課金と交通マネジメントが着目されています。道路課金は道路インフラの維持更新に必要な財源の調達機能に加え、道路利用者の需要管理の機能も注目されています。一方、交通マネジメントは、車両の大型化による物流効率化、通行規制や経路誘導による沿道環境改善、過積載車両の取り締まり強化による道路インフラ保全と交通安全が期待されます。

本シンポジウムでは、維持更新時代の道路課金・交通マネジメントをテーマに、進化を続ける道路課金、トラックの大型化と交通マネジメント、各国の道路課金・交通マネジメントのベストプラクティス等、様々な立場から議論を進めていきます。

2. 開催日時 平成29年3月28日(火) 14:00~17:00

3. 開催場所 都市センターホテル(日本都市センター会館内) 6F 601号室

東京都千代田区平河町2-4-1 TEL:03-3265-8211

アクセス: 有楽町線[麴町駅]1番出口(半蔵門方面出口)より徒歩約4分

有楽町線・半蔵門線「永田町駅」4番・5番出口より徒歩約4分

南北線「永田町駅」9番出口より徒歩約3分

丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」より徒歩約8分

JR「四谷駅」麴町口より徒歩14分

4. 主催 公益社団法人日本交通政策研究会

5. 参加費 無料

6. お申し込み

会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、当研究会ホームページ <http://www.nikkoken.or.jp/> から 3月23日までにお申込みください。

7. 定 員 80名に達しましたら、締め切らせて頂きます。

8. プログラム

- 14:00~14:05 開会挨拶 日本交通政策研究会 代表理事 原田 昇
- 14:05~14:25 基調報告1 維持更新時代の道路課金・交通マネジメント
根本 敏則（当研究会常務理事、一橋大学大学院商学研究科）
- 14:25~14:45 基調報告2 道路課金の目的・技術
野口 直志（三菱重工業メカトロシステムズ）
- 14:45~15:05 基調報告3 トラックの大型化と大型車交通マネジメント
今西 芳一（公共計画研究所）
- 15:05~16:05 事例紹介～各国の道路課金・交通マネジメントのベストプラクティス～
事例1 シンガポール、ロンドンの次世代ロードプライシング
利部 智（公共計画研究所）
事例2 ITS を駆使したオーストラリアの大型車交通マネジメント
脇嶋 秀行（建設技術研究所）
事例3 課金システムの相互運用
佐藤 元久（東日本高速道路）
事例4 貨物車運行管理の国際標準化
倉橋 敬三（ケン・パートナーズ）
事例5 損傷者負担を考慮した高速道路料金
後藤 孝夫（近畿大学）
事例6 日本のトラック大型化・大型車交通マネジメント
加納 陽之助（国土交通省）
- 16:05~16:15 休憩（10分）
- 16:15~17:00 質疑応答・討論
基調報告者 + 事例報告者 + 会場の皆様

※プログラムは予告なく変更される場合があります

お問い合わせ先

公益社団法人日本交通政策研究会 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-6 守住ビル4階

TEL : 03-3263-1945 E-mail : office@nikkoken.or.jp

FAX : 03-3234-4593 Website : <http://www.nikkoken.or.jp/>